

## 令和6年度 デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業審査結果

申請校名	金沢大学	整理番号	03
事業名	「データ匿名化×文系修士号＝価値創造」人材育成事業		

### (採択後公表)

#### [採択理由]

本事業計画は、幅広い教養と深い専門性を両立した人材を育成するため、データ匿名化分野と人文社会系分野を融合させた教育プログラムを構築するものである。本教育プログラムは、調査データの匿名化が可能な人材が不足している課題を踏まえ、データプライバシーのエキスパートの育成が必要な社会のニーズに基づいた計画となっており、その課題意識は高く評価できる。

また、本事業計画は大学の価値共創社会計画の中核に位置づけられており、学長を中心とした運営体制も十分に確立されている。特に、体制面において、教育改革機関「未来創成教育環」のガバナンスの下で文系大学院教育改革を行う、といった工夫がなされており、補助期間終了後も継続的かつ発展的に取組の実施が十分に見込めるものとなっている。

本事業計画においては、社会情報基盤としてマイクロデータ分析環境を整備、実証の為に調査でマイクロデータを収集、そしてプライバシーとデータ分析の社会的利益の両立、といった明確なアドミッション・ポリシーが設定されている。また、データ匿名化の三要素のすべてを人文社会科学系修士課程で履修するなど、教育プログラムにおける学修目標を達成するための方策が十分に考えられている。

以上のことから、貴学の事業計画は「幅広い教養と深い専門性を両立した人材の育成」という本事業趣旨に沿ったデータプライバシー・エキスパートの育成を目指す構想となっており、着実な計画の実施が望まれる。